

【評価実施概要】

事業所番号	170500821		
法人名	医療法人 愛全会		
事業所名	グループホームさんるーむ		
所在地	札幌市南区川沿13条3丁目3-10 (電話)011-578-1131		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年10月27日	評価確定日	平成20年12月20日

【情報提供票より】(H20年10月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算0.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨一部木造サイディング 造り		
	2階建ての	1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	53,000 円	その他の経費(月額)	水道光熱費16,000 円	
敷 金	有 (53,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり 43,000 円			

(4) 利用者の概要 (10月16日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 91.7 歳	最低	82 歳	最高	103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人愛全会 愛全病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、緑豊かで閑静な住宅街の一角にあり、商店街に近く生活の利便性が確保されている。木造2階建ての建物は瀟洒な造りで地域にしっかりと馴染んでいる。事業法人の病院・特養・老健も近在し、介護支援の連携も得やすく、医療面で24時間対応できる密接な関係に利用者はもとより家族の安心感も高い。1階がグループホームで各居室にはトイレ・洗面所があり、使い慣れた家具・ベッド等が持ち込まれ、居心地の良さを整えている。利用者は2階のデイサービスで毎週曜日毎に企画される健康体操・書道等に参加し、住民と交流をしているのが特徴的である。職員は笑顔が多く、利用者のペースに沿って一緒に生活を送っており、利用者が地域の中で生き生きと暮らしていることが感じられるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価を踏まえて、全て改善されている。運営推進会議については、会議の意義、目的に沿った会議運営のあり方を工夫している。意見箱の設置については、玄関内に設置している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は管理者が中心になり、職員全員が自己評価の意義や目的を理解し、利用者の視点に立ち現状を分析・検討し、さらなるサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	3カ月毎に運営推進会議を開催している。会議では、ホームの活動状況、利用者の状況、内・外部評価の結果、運営上の課題や今後の取り組みなどについて意見交換している。また、最近は懸案事項等についても取り組みの状況を報告し、意見をもらえるようになって来た。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の意見、苦情はできるだけ聞くような場・機会(来訪時、クリスマス会、意見箱、家族アンケート等)を設けている。これらの意見・苦情は職員会議や運営推進会議で話し合わせ、ホームの運営やサービスの向上に反映されるようになっている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入。地域の夏祭り・保育園の運動会・大学のお茶会に積極的に参加するなど、地域住民との交流に努めている。今後、町内会を通じてホーム情報を地域に伝えることを検討中であるとのことその成果にも期待している。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いのち輝いて”今”を幸せに」という理念を策定し、日々、理念に沿ったケアを目指して実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時やミーティングで理念を伝えたり、理解してもらえるようにしている。常に理念を掘り下げ具体的なケアについて意見統一を図るよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に賛助会員として加入。地域の祭り、学校祭など地域活動にも参加すると共に、2階のデイサービスが行う週1回の身体活性化体操にも参加するなど積極的に住民との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、外部評価の意義を十分に理解し、今回の自己評価も職員全員で話し合い取り組んでいる。また、前回の改善事項は改善計画を作成し、その改善に向けて積極的に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、3カ月に1度開催している。ホームからの一方的な報告にとどまらず意見・要望を受けて、今後の課題に関するモニター役にもなっている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市関係者、関連団体と連絡を密にし、ホームの実情や取り組み、課題等について報告している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時や2カ月毎に発行の「さんるーむ通信」で日常生活の様子や健康状態なども詳しく伝えている。金銭関係については、会計明細書と領収書を添えて報告している。訪問時に出納表を見せ確認印をもらっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を設けている。家族参加のクリスマス会をするなどして意見、不満、苦情など気軽に話せる雰囲気を作っている。家族アンケートもとるなどし、運営に反映できるよう努めている。	○	より家族との関係を深めるために、家族のアンケート結果や意見等に対する対応処理を速やかに情報として開示いくことが望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者、家族との信頼関係を築くため、職員配置は出来るだけ固定している。やむ得ない異動の場合には利用者への紹介や家族への周知等の配慮に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は内外部の研修には出来るだけ多くの職員が参加できるよう配慮している。今年度から法人内に教育委員会を発足させ、積極的に職員の資質の向上に努めている。研修終了後はレポートを提出し、全職員に伝達する仕組みになっている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市・区グループホーム連絡会に参加して他ホームの訪問見学、合同研修会を開催するなど、互いに交流を深め、質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームの雰囲気になじめないように事前に見学をしてもらい、家族と相談しながら安心感を持ってもらえるように工夫している。入居後は特に環境の変化に注意し、同居者とのコミュニケーションをサポートするようにしている</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家族的ホームを目指して利用者の不安、苦しみ、喜びを知ること努め、共感できる関係を築いている。利用者の得意なことの力を発揮できるよう機会や場づくりに配慮、工夫がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との会話や表情の中から意向を汲み取り、家族との面談時等による聞き取りで生活暦の把握を行っている。ホーム内外にて利用者が直面している問題や状況をきめ細かに精査し、利用者本位の処遇をしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員が日々のかかわりの中で利用者の意向や気づいたことを基にカンファレンスで協議、基本のケア計画を作成し、これをケアマネジャーがチェックしている。本人、家族の希望も取り入れて作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の利用者、家族との意見交換の中でその要望や状況を確認し、随時実情に即した話し合いを行い3カ月ごとに定期的な見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて外出、買い物、通院などの送迎支援をしている。法人内のデイサービス行事にも参加するなど本人の要望に応じ柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的に法人内の病院からの訪問診療が行われている。緊急時、夜間時の診療体制も整備されている。また、本人の要望によりかかりつけ医の通院支援もしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末に対しての対応指針を定めている。できるだけ早い段階から、利用者、家族、医師を交えて話し合いを行い、段階的に支援を行っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉かけや対応は、利用者のプライドを損ねることのないよう留意し対応している。記録などの取り扱いも個人情報保護法を理解していて慎重である。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者のその日の希望に添って作品作り、散歩、買い物、デイサービスでの遊び、調理の手伝いなど本人の思いを尊重して個別性のある支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の摂取状態を把握して見守り支援をしている。利用者の力に応じて調理の下ごしらえ、配膳、下膳など一緒に行っている。スタッフは楽しい食事になるように雰囲気作りに気配りして同じテーブルで食事をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの生活習慣や希望を大切に、予定にこだわらない利用者本位の体制を整えている。入浴を拒む人に対しても言葉かけを工夫し、くつろいで入浴を楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	縫物、畑仕事、洗濯物たたみ、食事の準備、作品作り等個々の利用者が役割を見出し、力が発揮できるよう場や機会をつくり支援している。居間での職員との本・新聞の話題による対話、歌の声合わせなどは、よく工夫されていて利用者の励みと喜びになっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には皆でホーム周辺を散歩したり、テラスでティータイムを楽しめるよう支援している。また、個々の希望に応じて散歩、買い物など戸外に出かける機会をつくるなど、積極的な取り組みをしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上の安全のため鍵をかけている。日中は鍵をかけずに自由に入出りができるので、安全に配慮して事故のないように見守り支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>通報マニュアル、連絡網を作成して避難訓練を年2回実施している。今後、地域の防災訓練にも参加するなどし、さらなる地域の協力を得られるよう検討している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人内の管理栄養士が献立を作成し、栄養のバランスを考え提供している。嚥下困難な人には細食にする配慮、食事、水分摂取量をチェックするなど、個々の摂取状態を把握して適切に摂取できるよう支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の生活空間は陽あたりがよく、明るく広いことから居心地の良さを感じとれる。静かに懐メロが流れたり、季節感のある展示物を掲げるなどして居心地よく過ごせるように配慮されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は利用者が慣れ親しんだ家具、仏壇、調度品が持ち込まれ落ち着いた気持ちで過ごせるようその人らしい居室になっている。</p>		

 は、重点項目。